

氏名	刑部 育子 GYOBU Ikuko
所属 職名	人間文化創成科学研究科人間科学系 准教授
学位	教育学修士（東京大学）
専門分野	発達心理学・保育臨床学
URL	
E-mail	gyobu.ikuko@ocha.ac.jp

研究者キーワード / Keywords

幼稚園におけるフィールド研究
観察ツール
アートと学習

Field Study in Kindergarten
Observation Tool
Art and Learning

主要業績

刑部育子 (2010). なぜ今、協同的に学ぶことが重視されるのですか??ワークショップと協同性. 茂木一司・苅宿俊文・佐藤優香・宮田義郎 (編), 協同と表現のワークショップ?学びのための環境のデザイン. (pp. 28-31). 東京: 東信堂.

植村朋弘・刑部育子・戸田真志 (2010). 出来事のデザインに関する一考察. デザイン学会大会発表論文集, 57, B13. [審査無]

相田彰大・戸田真志・植村朋弘・刑部育子 (2010). 観察行為を対象とした視覚データ管理のための「その場アノテーション」システムの開発. 電子情報通信学会技術研究報告, 110(147), 27-32. [審査有]

製品化 商品名: CAVScene(ビジュアルシンキングを支援する行動観察ツール・CAVScene搭載ノートパソコン). 販売元: 株式会社インターネットテレフォン. 発売日: 2010年4月15日. Webサイト: <http://seek-feed.jp/cavs/>

研究内容 / Research Pursuits

(1) 科学研究費（基盤研究（B））助成による教育実践フィールドに有効な観察調査ツール開発を進め、観察ツールが事業化（製品化）されました。 <http://www.seek-feed.jp/cavs/>

My research interests lie in the field of education, specifically pre-school and elementary school level. I conduct collaborative researches in the area of children's school activities with school teachers. I'm part of the observation tool development te

■ 教育内容 / Educational Pursuits

平成22年度学部授業として、「保育臨床学」、「人間関係学」、「保育臨床講義購読」、「保育臨床実習」、「発達臨床特別演習?・?」ほか、を行いました。大学院の授業では「保育実践論特論」、「保育実践論演習」、「保育関係学演習」、を行いました。平成22年度に私の研究室から提出された卒業論文・修士論文として「幼稚園での幼児の遊びにおける入園当初からの仲間関係の変化」、「七夕の願い事からみる幼児の世界」「幼稚園生活の中での相了解場面とじゃんけんの関連」、「日常場面における子どもの「うそ」」があります。

■ 研究計画

■ メッセージ

お茶の水女子大学敷地内には、日本で最も歴史ある附属幼稚園があります。また、国立大学の中で附属校として初めての保育所、いずみナーサリーが大学と同じ敷地内に設置されました。乳幼児教育を基軸とした生涯学習モデルの構築を開発するため、大学と幼稚園・保育所が連携した研究プロジェクトが進行中です。このような学習環境が備わる中で実践的にそして専門的な保育・子ども理解・発達を学ぶことができます。